



2026 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 シンクレイヤ株式会社
(コード番号:1724 東証スタンダード)
(URL <https://www.synclayer.co.jp>)
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 正 裕
問 い 合 わ せ 先 取締役管理本部長 藤 原 伸 昭
電 話 番 号 052(242)7875

業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 11 月 13 日に公表いたしました 2025 年 12 月期 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日) 連結業績予想を、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2025 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	12,500	750	760	530	113.61
今回修正予想(B)	10,500	370	390	240	51.55
増減額(B-A)	△2,000	△380	△370	△290	
増減率(%)	△16.0%	△50.7%	△48.7%	△54.7%	
(ご参考)前期実績 (2024 年 12 月)	11,711	653	741	547	117.66

2. 修正の理由

(1) トータル・インテグレーション部門における売上の期ズレ

同部門では、主要な資材の調達に時間を要する状況が継続しており、あわせて一部の工事案件においては、お客様側の計画変更に伴う工期調整が発生しました。

これにより当初計画していた売上計上の一部が 2025 年度内に完了せず、複数案件で期ズレが生じたことが、売上高および利益の下方修正の主因になっております。

(2) 機器インテグレーション部門における減収および棚卸資産評価損の計上

トータル・インテグレーション部門における工事案件の期ズレ発生に伴い、一部の機器販売にも期ズレが生じました。また、特定顧客における投資計画の後ろ倒しにより、当社が販売を見込んでいた機器の収益性を見直した結果、棚卸資産評価損を計上する必要性が生じ、売上高および利益の減少要因となっております。

(3) 急激な円安による利益率の低下

2025 年後半にかけて進行した急速な円安により調達コストが上昇しました。価格転嫁の取り組みを進めておりますが、コスト上昇の一部を吸収しきれず利益率が低下したことも、今回の下方修正に影響しております。

3. 今後の見通し

期ズレとなったトータル・インテグレーション部門の各案件については、2026 年にかけて順次具体化し、受注および売上計上が進む見通しです。また、調達リスクへの対応として、今後枯渇が予想される主要資材については先行確保の取り組みを継続し、安定供給体制の強化を進めてまいります。さらに、円安や物価上昇が続く環境下においては、価格改定を継続的に実施し採算性の改善を図ってまいります。

4. 配当予想について

今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。引き続き、株主の皆様への安定的な還元を重視するとともに、将来の成長に向けた投資に備えるための内部留保の充実にも努めてまいります。

※上記予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素がございますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上